

- 問1 北アメリカ大陸の中央部において、西側の鋭く高い山脈であるロッキー山脈の東側に沿って広がる、広大な平原の名称を次の中から選んでください。 (2022年 山形県公立入試 類似)
1. セルバ 2. グレートプレーンズ 3. パンパ 4. ステップ
- 問2 北アメリカの乾燥地域で行われている「センターピット」を用いた農業について、その仕組みと特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2024年 奈良県公立入試 類似)
1. 河川の氾濫を防ぐための堤防を築き、湿地帯の水を抜くことで肥沃な土地を確保する。 2. 地下水を水源としてくみ上げ、長いアーム状の装置で人工的に散水して農作物を栽培する。 3. 傾斜地の斜面を階段状に平らにならし、雨水を効率よく利用して作物を栽培する。 4. 海や湖の一部を堤防で囲い、内部の水を排水して得られた土地を農地として利用する。
- 問3 アメリカ合衆国の発電構成の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2025年 青森県公立入試 類似)
1. 豊富な水資源と地形を利用した水力発電が、全体の過半数を占めている。 2. 総発電量は多いが、原子力発電の割合が約7割と極めて高い。 3. 総発電量が世界最大規模であり、火力発電が全体の約6割を占めている。 4. 環境保護政策の推進により、再生可能エネルギーの割合が5割を超えている。
- 問4 アメリカ合衆国の農業が、特定の農作物を大規模に生産し、高い収益を上げることができる理由の一つとして、「適地適作」という仕組みが挙げられます。この仕組みの説明として、その目的や内容を正しく述べたものはどれですか。 (2021年 長野県公立入試 類似)
1. 輸出を目的とせず、地域の住民が消費するために多様な品目を少量ずつ育てること 2. 肥料や機械を大量に投入し、自然条件に関わらず同じ作物を全国一律で育てること 3. 消費地である大都市に近い場所に農場を配置し、輸送コストを削減すること 4. 気温や降水量などの自然条件に最も適した農作物を栽培し、生産の効率化を図ること
- 問5 北アメリカ大陸の中央部に広がる広大な平原（中央平原）を北から南へと縦断するように流れ、最終的に大陸南側のメキシコ湾へと注ぐ、アメリカ合衆国で最大の流域面積を持つ河川を選んでください。 (2019年 兵庫県公立入試 類似)
1. アマゾン川 2. ライン川 3. ミシシッピ川 4. ドナウ川
- 問6 アメリカ合衆国のカリフォルニア州、サンフランシスコ郊外に位置し、半導体や集積回路といった製品の製造・開発を軸に発展した、世界的な先端技術産業の集積地の呼称を選びなさい。 (2023年 佐賀県公立入試 類似)
1. サンベルト 2. ラストベルト 3. シリコンバレー 4. コーンベルト
- 問7 アメリカ合衆国の北緯37度以南に広がるサンベルトでは、近年どのような産業が発展していますか。その産業の組み合わせとして、最も適切なものを選びなさい。 (2024年 新潟県公立入試 類似)
1. ICT産業（情報通信技術産業）や航空宇宙産業 2. 石炭・鉄鉱石を原料とした鉄鋼業 3. 五大湖周辺の資源を利用した自動車産業 4. 水力を利用した繊維工業
- 問8 アメリカ合衆国の工業に関する記述として、北緯37度より南側の地域で先端技術産業が発展した背景や特徴を正しく説明しているものはどれですか。 (2018年 富山県公立入試 類似)
1. 広大な用地や安価な労働力が確保しやすく、航空機や宇宙産業などの先端技術産業が集積した。 2. 大西洋側の古い港湾都市を中心に、ヨーロッパ向けの繊維製品を生産する軽工業が発展した。 3. 冷涼な気候が電子部品の精密な加工に適していたため、内陸部の山岳地帯に工場が集中した。 4. 五大湖周辺の豊富な鉄鉱石と石炭を利用して、古くから重化学工業や自動車工業が発達した。
- 問9 メキシコの貿易構造と、その背景にある地理的・経済的な関係について述べた文として、最も適切なものはどれかを選びなさい。 (2014年 和歌山県公立入試 類似)
1. 輸入において中国や日本、韓国などのアジア諸国が合計額でアメリカ合衆国を上回っており、アジアへの依存を強めている。 2. 輸出入ともに隣接するアメリカ合衆国が最大の貿易相手国であり、カナダや中南米のコロンビアとも活発に取引を行っている。 3. 中南米諸国との貿易を最優先しており、コロンビアやブラジルとの取引額が、アメリカ合衆国やカナダを上回っている。 4. 輸出先はアメリカ合衆国に集中しているが、輸入先はドイツを中心としたヨーロッパ連合（EU）諸国が過半数を占めている。
- 問10 北アメリカ大陸の東部に位置し、イギリス系住民とフランス系住民が移住してきた歴史的背景を持つ都市について述べた文として、最も適切なものはどれですか。この都市は、英語とフランス語が公用語として道路標識などに併記されており、国の政治体制として立憲君主制を採用している国の首都です。 (2022年 東京都公立入試 類似)
1. 内陸部の開発を目的として建設された、近代的な建築群で構成されるブラジルの首都ブラジリア 2. フランス文化圏とイギリス文化圏の境界に位置し、多文化社会を象徴するカナダの首都オタワ 3. イギリスの影響を受けつつ、シドニーとメルボルンの対立を避けるために選ばれたオーストラリアの首都キャンベラ 4. 三権分立を徹底するために新たに建設された、計画都市として知られるアメリカの首都ワシントンD.C.
- 問11 アメリカ合衆国のサンフランシスコ近郊に位置し、大学や研究機関との密接な連携によって高度な技術開発が行われている、世界最大のICT（情報通信技術）関連産業の集積地を何と呼びますか。 (2025年 兵庫県公立入試 類似)
1. ピッツバーグ 2. ヒューストン 3. シリコンバレー 4. デトロイト
- 問12 北アメリカの五大湖周辺に位置する都市デトロイトは、時代とともにその産業構造を変化させてきました。18世紀にフランス人によって建設された当時の主な目的と、20世紀以降にこの都市が世界的な工業都市へと発展した背景にある仕組みを組み合わせたものとして、正しいものはどれですか。 (2021年 東京都公立入試 類似)
1. フランス人による綿花栽培の拠点として建設され、20世紀に高度な電子部品を生産する半導体産業で発展した。 2. イギリス人による精密機械の拠点として建設され、20世紀に水力を利用した繊維工業で発展した。 3. フランス人による毛皮交易の拠点として建設され、20世紀に大量生産方式の導入による自動車工業で発展した。 4. スペイン人による銀の採掘拠点として建設され、20世紀に航空機を製造する宇宙産業で発展した。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 グレートプレーンズ	北アメリカ大陸の地形は、西側に険しいロッキー山脈、中央部に広大な平原、東側になだらかなアパラチア山脈が配置されているのが特徴です。このうち、ロッキー山脈の東側に位置する半乾燥の広大な平原をグレートプレーンズと呼びます。ここでは大型機械を用いた大規模な小麦栽培や企業的な牧畜が行われています。
問2	答え 2 地下水を水源としてくみ上げ、長いアーム状の装置で人工的に散水して農作物を栽培する。	センターピボットは、地下水から農業用排水を確保し、人工的に農地に供給する「かんがい」の一種です。本来は降水量が少なく農業が困難な乾燥帯・半乾燥帯において、この技術を導入することで、広大な農地で円形の耕作地を形成し、トウモロコシなどの大規模生産を可能にしています。
問3	答え 3 総発電量が世界最大規模であり、火力発電が全体の約6割を占めている。	広大な国土と豊富な地下資源を持つアメリカでは、石炭や天然ガスをを用いた火力発電が主要な電源となっている。他の選択肢について、原子力発電の割合が極めて高いのはフランス、再生可能エネルギーの割合が高いのはドイツなどのヨーロッパ諸国、水力発電が過半数を占めるのはカナダやブラジルなどの特徴である。
問4	答え 4 気温や降水量などの自然条件に最も適した農作物を栽培し、生産の効率化を図ること	アメリカ合衆国の農業は、自然条件を無視して全ての場所で同じ物を作るのではなく、各地域の特性を活かして最も効率よく育つ作物を選んでいきます。この方法により、一地域で特定の作物を大規模に生産することが可能になり、世界の食糧庫と呼ばれるほどの高い生産性を実現しています。
問5	答え 3 ミシシッピ川	北アメリカ大陸の中央平原を流れるこの河川は、アメリカ合衆国の農業地帯を南北に貫く重要な水路です。その河口はメキシコ湾に位置しており、内陸部で生産されたトウモロコシや大豆などの農産物を輸送するための重要な交通路としても利用されています。
問6	答え 3 シリコンバレー	サンフランシスコの南側に位置するこの地域は、スタンフォード大学などの教育・研究機関と企業が密接に連携することで発展しました。半導体の主原料である「シリコン」にちなんでこの名がつけました。現在はICT産業を牽引する多くの世界的企業が本社を置いています。
問7	答え 1 ICT産業（情報通信技術産業）や航空宇宙産業	サンベルトでは、広大な土地や大学などの研究機関が集積していることを活かし、先端技術を用いた産業が成長しました。特にICT産業や、政府の航空宇宙局（NASA）の施設などが設置されたことによる航空宇宙産業の発展が顕著です。一方、鉄鋼業や自動車産業は、主に五大湖周辺の古い工業地域で発展した産業です。
問8	答え 1 広大な用地や安価な労働力が確保しやすく、航空機や宇宙産業などの先端技術産業が集積した。	1970年代以前は五大湖周辺が工業の中心でしたが、地価や賃金の上昇、施設の老朽化などを背景に、企業が南部や西部へ移転し始めました。サンベルトと呼ばれるこの地域は、広大な土地が必要な航空機・宇宙産業、および高度な技術を要するコンピュータ産業の発展に有利な条件が揃っていました。五大湖周辺の鉄鋼・自動車工業は「スノーベルト（またはラストベルト）」の説明であり、サンベルトの特徴とは対照的です。
問9	答え 2 輸出入ともに隣接するアメリカ合衆国が最大の貿易相手国であり、カナダや中南米のコーンピアとも活発に取引を行っている。	メキシコは北アメリカ大陸に位置し、アメリカ合衆国と密接な経済関係を築いています。輸出相手国としてはアメリカが圧倒的で、次いで同じ北米のカナダや、文化的な共通点も多い中南米のコーンピアが主要な相手となります。輸入においてもアメリカが1位ですが、日本や中国といった製造業の盛んな国々からも工業製品などを輸入しています。
問10	答え 2 フランス文化圏とイギリス文化圏の境界に位置し、多文化社会を象徴するカナダの首都オタワ	カナダは16世紀にフランスが進出し、その後にイギリスが進出した歴史を持っています。首都オタワは、主にフランス語が話されるケベック州と、英語が話されるオンタリオ州の境界付近に位置しており、両方の文化に配慮する形で首都となりました。現在も多文化主義を尊重し、英語とフランス語の二言語併記が徹底されています。
問11	答え 3 シリコンバレー	カリフォルニア州のサンフランシスコ近郊には、スタンフォード大学などの有力な研究機関が集まっており、産学連携を通じて最先端の技術を持つベンチャー企業が多数誕生しました。1970年代以降、半導体やソフトウェア、インターネットサービスといった情報通信技術を核とした産業が発展し、現在も世界的なICT企業が本拠を置いています。
問12	答え 3 フランス人による毛皮交易の拠点として建設され、20世紀に大量生産方式の導入による自動車工業で発展した。	デトロイトは1701年にフランス人によって毛皮交易の拠点として建設されました。その後、19世紀に五大湖と東部を結ぶ運河が整備されたことで交通の利便性が高まり、20世紀に入るとベルトコンベアを利用した流れ作業などの「大量生産方式」が確立されました。これにより、安価な自動車の生産が可能となり、世界最大の自動車工業都市へと成長を遂げました。